

平田五郎|アラスカの旅「月を盗んだワタリガラス」版画展

2013年6月5日(水)ー7月7日(日) 9:00-22:00

アラスカ旅行中に作られた彫刻の写真と版画により、遠くアラスカの旅を辿ります

ワタリガラスの神話に基づき、自身で制作したカヤックを使って、カナダから南東アラスカ沿岸部に広がるインサイドパッセージを単身北上した旅の記録です。途上に制作した彫刻により、神話と自身の体験とを重ねてゆく物語を版画にしました。

■平田五郎プロフィール

- 1965 東京生まれ
- 1988 東京芸術大学美術部油絵科卒業
- 1990 同大学院壁画研究室修了

1990年に狭く深い穴を掘り内側にパラフィンワックスの壁を持つ白い部屋「Mind Space」を制作。心理的な自分の場所や部屋をつくることをテーマに凍結した湖上、西表島のマングローブ林、砂漠、ヒマラヤ山中などをひとりで歩行して小さな彫刻を作るフィールドワークを行う。平行して美術館にてパラフィンワックスで家や部屋を造るインスタレーションの発表を続ける。主な展示は、「超日常 - 日本現代芸術 7 人展」(上海美術館)、「日韓現代美術展 - 自己と他人の間」(目黒美術館、国立国際美術館、韓国文化芸術振興院美術館)、マニラ・メトロポリタン美術館)。「呼吸する風景」(埼玉県立美術館)、「ヴァイヴレーション - 結び合う知覚」(宇都宮美術館)、「素景」(資生堂ギャラリー)「あいちトリエンナーレ 2012」などに出品。